

教科目名 歴史学特論 (Special Lecture on history)

専攻名・学年 : 全専攻1年 (教育プログラム 第3学年 科目)

単位数など : 必修 2単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 田中美穂

授業の概要			
中世アイルランドの聖人および聖人伝について、事例を挙げて、その世俗社会との関わりを明らかにしつつ講義していく。とくに、ブリテン諸島における宣教活動・学問・文化の中心となったアイオナ修道院を創建した聖コルンバと、アダムナーンが執筆した『聖コルンバ伝』について、詳細に講義する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 1970年代から大きく変わった中世アイルランド史研究の考え方や方法論について理解する(定期試験)。 (2) 聖人伝というジャンルの史料上の性質について考える(定期試験)。 (3) アイオナ修道院の歴史と守護聖人コルンバとの結びつきについて考える(定期試験)。 (4) 『聖コルンバ伝』から、アイオナ修道院とブリテン諸島各地の王国や王との関わりについて考える(定期試験)。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
16	中世アイルランドについて	アイルランド現代史とともに変貌した中世アイルランド史研究の動向について理解できる。 聖人伝の史料上の性質が理解できる。 アイルランドの重要な聖人について、それぞれの聖人とアイルランドの歴史との関わりについて理解できる。 聖人伝について、伝説と史実を区別して考える必要があることを理解できる。	【理解の度合い】
17	中世アイルランド史研究の過去と現在(1)		
18	中世アイルランド史研究の過去と現在(2)		
19	史料としての聖人伝		
20	聖パトリック		
21	聖ブリジット		
22	聖コルンバ		
23	聖コルンバヌス	『聖コルンバ伝』を執筆したアダムナーンの影響力の大きさについて理解できる。 コルンバの時代を描いた聖人伝の内容には、実はアダムナーンの時代の事柄が、さまざまな面で反映されていることが理解できる。	
24	聖ブレンダン		
25	アダムナーンについて		
26	アイオナ修道院		
27	コルンバ系修道院		
28	アイオナとアイルランドの王国との関係		
29	アイオナとブリテンの王国との関係		
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		講義中に話す内容について、各自でしっかりノートまとめをすること。	【総合達成度】
教 科 書		毎回、レジュメや資料を提供する。	
参 考 図 書		毎回、授業で紹介する。	
事前準備学習		歴史学特論 で配布されたプリント・資料の復習をしておくこと。	
関 連 科 目		歴史学特論 (専攻科1年), 歴史学概説(5年), 世界史(2年)。	
総 合 評 価		期末試験の点によって評価するが、欠課は減点の対象となる。総合評価が60点以上を合格とする。	